

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6014554 - 0001

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0034
				2021/1/6
調整後保管日時		2021年2月8日		10:00
【保管時の指示事項等】				

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2021年2月8日		(月)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	2号機PCV内部詳細調査設備仮置きのための干渉物移動委託								
	発生場所	定検機材倉庫B棟西側					2021/1/6	2021/1/6	2021/1/6	
	作業主管G	PCV内部調査PJグループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/11/13	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-81		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	金属ガラ	B	01	D	A	20 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

線量測定内容			
測定日	2021年2月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-162
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	5 μSv/h	5 μSv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/8 10:10	20 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。
--------	------------------------------------

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6014554 - 0001

作業主管理G記入メモ	保管希望日時	2021年2月8日		(月)	11:00	承認	審査	作成	
	作業件名	2号機PCV内部詳細調査設備仮置きのための干渉物移動委託							
	発生場所	定検機材倉庫B棟西側					2021/1/6	2021/1/6	2021/1/6
	作業主管G	PCV内部調査PJグループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2020/11/13	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-81	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
1	金属ガラ	B	01	D	A	20 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2						m <sup>3</sup>			
3						m <sup>3</sup>			
4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>			
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0035
				2021/1/6
調整後保管日時		2021年2月8日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2021年2月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-162
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/8 10:15	10 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。

※カテ ゴリ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6014554 - 0001

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0036
				2021/1/6
調整後保管日時		2021年2月9日		10:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2021年2月9日		(火)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	2号機PCV内部詳細調査設備仮置きのための干渉物移動委託									
	発生場所	定検機材倉庫B棟西側				2021/1/6	2021/1/6	2021/1/6			
	作業主管G	PCV内部調査PJグループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2020/11/13	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-81		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	金属ガラ	B	01	D	A	20 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>					
5						m <sup>2</sup>					
注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。											

線量測定内容			
測定日	2021年2月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-162
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/9 10:25	10 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6014554 - 0001

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0037
				2021/1/6
調整後保管日時		2021年2月9日		11:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2021年2月9日		(火)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	2号機PCV内部詳細調査設備仮置きのための干渉物移動委託								
	発生場所	定検機材倉庫B棟西側				2021/1/6	2021/1/6	2021/1/6		
	作業主管G	PCV内部調査PJグループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2020/11/13	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-81		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無		
		①	②	③				β+γ 線量率		
	1	金属ガラ	B	01	D	A	20 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

線量測定内容			
測定日	2021年2月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-162
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	5 μSv/h	10 μSv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/9 10:30	20 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6014554 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2021年2月10日		(水)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	2号機PCV内部詳細調査設備仮置きのための干渉物移動委託								
	発生場所	定検機材倉庫B棟西側				2021/1/6	2021/1/6	2021/1/6		
	作業主管G	PCV内部調査PJグループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/11/30	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-81	
メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	金属ガラ	B	01	D	A	20 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
	4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0038
				2021/1/6
調整後保管日時		2021年2月10日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2021年2月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-162
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	5 $\mu$ Sv/h	10 $\mu$ Sv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/10 10:30	20 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6014554 - 0001

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0039
				2021/1/6
調整後保管日時		2021年2月10日		11:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2021年2月10日		(水)	11:00	承認	審査	作成
	作業件名	2号機PCV内部詳細調査設備仮置きのための干渉物移動委託						
	発生場所	定検機材倉庫B棟				2021/1/6	2021/1/6	2021/1/6
	作業主管G	PCV内部調査PJグループ			監理員	TEL		
	元請会社				担当者	TEL		
	線量測定年月日	2020/12/7	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-81
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
		①	②	③				β+γ 線量率
	1	金属ガラ	B 01	D A	20 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	- 無
	2				m <sup>3</sup>			
3				m <sup>3</sup>				
4				m <sup>3</sup>				
5				m <sup>3</sup>				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。							

線量測定内容			
測定日	2021年2月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-162
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	5 μSv/h	10 μSv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/10 10:35	20 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012914 - 0065

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0057
				2021/1/7
調整後保管日時		2021年2月10日		10:00
【保管時の指示事項等】				

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2021年2月10日		(水)	10:00	承認	審査	作成	
	作業件名	中央操作室デジタルレコーダ設備更新工事(2020)							
	発生場所	3,4号機中央制御室					2021/1/7	2021/1/7	2021/1/7
	作業主管G	燃料計装設備グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2021/1/6	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-109	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ + $\gamma$ 線量率
	1	紙類・ウエス類	A 01	D B	0.5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ビニール類	A 02	D B	0.5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	その他可燃物	A 04	D A	0.5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4	バッテリー	B 10	D A	0.1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
5	金属ダクト・電線管	B 01	D B	3 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

線量測定内容			
測定日	2021年2月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-205
2		ICWBL	F1-ICWBL-162
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ + $\gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙類・ウエス類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/10 10:00	0.5 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ビニール類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/10 10:00	0.5 m <sup>2</sup>			1
	3	1	その他可燃物	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/10 10:00	0.5 m <sup>2</sup>			1
	4	1	バッテリー⑥	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2021/2/10 10:20	0.05 m <sup>2</sup>			2
	5	1	金属ダクト・電線管	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/10 10:20	0.5 m <sup>2</sup>			2
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$  +  $\gamma$  線量率欄に「 $\beta$  +  $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta$  +  $\gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012914 - 0065

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2021年2月10日		(水)	10:30	承認	審査	作成							
	作業件名	中央操作室デジタルレコーダ設備更新工事(2020)													
	発生場所	34号機中央制御室					2021/1/7	2021/1/7	2021/1/7						
	作業主管G	燃料計装設備グループ			監理員		TEL								
	元請会社				担当者		TEL								
	線量測定年月日	2021/1/6	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-109						
No.	保管物名		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無	β+γ 線量率			
			①	②	③										
	1	金属ガラ		B	01	D	A	1	m	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	2								m						
	3								m						
	4								m						
5								m							

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0058
				2021/1/7
調整後保管日時		2021年2月10日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2021年2月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-162
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	5 μSv/h	5 μSv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/10 10:10	1 m			1
									m			
									m			
									m			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木					
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0021

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2021年2月12日		(金)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	建屋内照明設置工事(第三期工事)								
	発生場所	1F構内				2021/1/7	2021/1/7	2021/1/7		
	作業主管G	電気設備建設グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/1/6	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1ICWβL-108	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	木材	A	03	D	A	2 m <sup>3</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無
2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0059
				2021/1/7
調整後保管日時		2021年2月12日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2021年2月12日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-205	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材	2 μSv/h	2 μSv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/12 11:00	2 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥 W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0021

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2021年2月12日		(金)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	建屋内照明設置工事(第三期工事)								
	発生場所	1F構内				2021/1/7	2021/1/7	2021/1/7		
	作業主管G	電気設備建設グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/1/6	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1ICWβL-108		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	金属ガラ	B	01	D	A	3 m <sup>3</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
2	ケーブル	B	08	D	A	2 m <sup>3</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0060
				2021/1/7
調整後保管日時		2021年2月12日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2021年2月12日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-162	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	5 μSv/h	5 μSv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/12 10:40	0.5 m <sup>3</sup>			1
	2	1	ケーブル	5 μSv/h	5 μSv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/12 10:40	0.5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥 W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0063

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0087
				2021/1/8
調整後保管日時		2021年2月8日		10:00 -
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2021年2月8日		(月)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	処理水ライン保温カバー他設置工事関連								
	発生場所	J・H・Cエリア					2021/1/8	2021/1/8	2021/1/8	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2020/12/23	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICW-044		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	保温材	B	06	D	B	5 m	1.8 μSv/h	1.8 μSv/h	無
	2						m			
	3						m			
4						m				
5						m				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

線量測定内容			
測定日	2021年2月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-028
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材	5 μSv/h	5 μSv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/8 9:50	5 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
メモ	※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0063

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2021年2月8日		(月)	11:00	承認	審査	作成	
	作業件名	処理水ライン保温カバー他設置工事関連							
	発生場所	J・H・Cエリア					2021/1/8	2021/1/8	2021/1/8
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2020/12/23	測定者		測定器名	電線箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICW-044	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
1	塩化ビニール	B	05	D	B	2 m <sup>2</sup>	1.8 $\mu$ Sv/h	1.8 $\mu$ Sv/h	無
2	不燃物その他	B	10	D	B	3 m <sup>2</sup>	1.8 $\mu$ Sv/h	1.8 $\mu$ Sv/h	無
3						m <sup>2</sup>			
4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>			
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0088
				2021/1/8
調整後保管日時		2021年2月8日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2021年2月8日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-205	
2		ICW	F1-ICW-028	
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	塩化ビニール	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		※1 第二土捨場	2021/2/8 11:00	1 m <sup>2</sup>			1
	2	1	不燃物その他	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		※1 第二土捨場	2021/2/8 10:30	3 m <sup>2</sup>			2
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥 W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0063

作業主管理	保管希望日時	2021年2月9日		(火)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	処理水ライン保温カバー他設置工事関連								
	発生場所	J・H・C・K・Dエリア					2021/1/8	2021/1/8	2021/1/8	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2020/12/23	測定者		測定器名	電離箱式サーバイメーター	管理番号	F1-ICW-044		
記入欄	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	金属ガラ	B	01	D	B	3 m <sup>3</sup>	1.8 μSv/h	1.8 μSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
	4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0089
				2021/1/8
調整後保管日時		2021年2月9日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2021年2月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-028
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	5 μSv/h	5 μSv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/9 10:00	3 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。
----	------------------------------------

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥 W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0043

作業主管理	保管希望日時	2021年2月9日		(火)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	移送配管フランジ他点検関連								
	発生場所	J・H・C・K・Dエリア					2021/1/8	2021/1/8	2021/1/8	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
G記入欄	線量測定年月日	2020/12/23	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICW-044		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	1 m <sup>2</sup>	1.8 μSv/h	1.8 μSv/h	無
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	1 m <sup>2</sup>	1.8 μSv/h	1.8 μSv/h	無
メモ	3	可燃物その他	A	04	D	B	2 m <sup>2</sup>	1.8 μSv/h	1.8 μSv/h	無
	4	紙・ウエス類	A	01	W	B	1 m <sup>2</sup>	1.8 μSv/h	1.8 μSv/h	無
	5									
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0090
				2021/1/8
調整後保管日時		2021年2月9日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2021年2月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-205
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
実績記入欄	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/9 11:00	0.5 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/9 11:00	1.5 m <sup>2</sup>			1
	3	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/9 11:00	2.5 m <sup>2</sup>			1
	4	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/9 11:00	0.3 m <sup>2</sup>			1
メモ												

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0117

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2021年2月9日 (火)		9:00	承認	審査	作成			
	作業件名	G6エリア他タンク堰雨水移送ライン他設置工事								
	発生場所	タンクヤード K1南エリア東側 (グリッドNo. GQ-20)			2021/1/8	2021/1/8	2021/1/8			
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/10/13	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-273			
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	耐圧ホース	C	03	D	B	5 m	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
2						m				
3						m				
4						m				
5						m				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0117
				2021/1/8
調整後保管日時		2021年2月9日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2021年2月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-108	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	耐圧ホース (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		※1 第二土捨場	2021/2/9 8:40	5 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0117

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2021年2月9日		(火)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	G6エリア他タンク堰雨水移送ライン他設置工事								
	発生場所	タンクヤード K1南エリア東側 (グリッドNo. GQ-20)				2021/1/8	2021/1/8	2021/1/8		
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/10/13	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-273	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	耐圧ホース	C	03	D	B	5 m	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
	2						m			
	3						m			
	4						m			
	5						m			
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0118
				2021/1/8
調整後保管日時		2021年2月9日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2021年2月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-108	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	耐圧ホース (→H)	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/9 8:40	5 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —			
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —			
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —			
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —			
		②	状 態	D:乾燥 W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0117

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0119
				2021/1/8
調整後保管日時		2021年2月9日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2021年2月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-108	
2				
3				
4				

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2021年2月9日		(火)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	G6エリア他タンク堰雨水移送ライン他設置工事								
	発生場所	タンクヤード K1南エリア東側 (グリッドNo. GQ-20)				2021/1/8	2021/1/8	2021/1/8		
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2020/10/13	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-273		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	耐圧ホース	C	03	D	B	5 m	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
	2						m			
	3						m			
4						m				
5						m				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	耐圧ホース(→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/9 9:00	5 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0117

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0120
				2021/1/8
調整後保管日時		2021年2月10日		9:30
【保管時の指示事項等】				

主 管 入 欄	保管希望日時	2021年2月10日		(水)	9:30	承認	審査	作成	
	作業件名	G6エリア他タンク堰雨水移送ライン他設置工事							
	発生場所	タンクヤード K1南エリア東側 (グリッドNo. GQ-20)					2021/1/8	2021/1/8	2021/1/8
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/11/6	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-125	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	パイプ類	B 05	D	B	1 m	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
	2	弁・配管類	B 03	D	B	1 m	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
	3	鉄くず	B 01	D	B	1 m	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
4	ポンプ	B 03	D	B	1 m	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
5					m				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。								

線量測定内容			
測定日	2021年2月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-108
2		ICWBL	F1-ICWBL-162
3			
4			

保管実績 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	パイプ類	5 μSv/h	5 μSv/h		※1 第二土捨場	2021/2/10 8:45	1 m			1
	2	1	弁・配管類	5 μSv/h	5 μSv/h		※1 第二土捨場	2021/2/10 8:45	1 m			2
	3	1	鉄くず	5 μSv/h	5 μSv/h		※1 第二土捨場	2021/2/10 8:45	1 m			2
	4	1	ポンプ	5 μSv/h	5 μSv/h		※1 第二土捨場	2021/2/10 8:45	1 m			2
									m			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。
----	------------------------------------

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05
		②	状 態			D:乾燥 W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0117

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0121
				2021/1/8
調整後保管日時		2021年2月10日		10:30
【保管時の指示事項等】				

作業主管理 G 記入欄	保管希望日時	2021年2月10日		(水)	10:30	承認	審査	作成	
	作業件名	G6エリア他タンク堰雨水移送ライン他設置工事							
	発生場所	タンクヤード					2021/1/8	2021/1/8	2021/1/8
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2020/11/6	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-125	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	鉄くず	B 01	D B	0.7 m <sup>3</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
	2	グラスウール、エアロフレックス	B 06	D B	1.3 m <sup>3</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
	3	紙、ウエス類	A 01	W B	0.8 m <sup>3</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
4	ポリ、プラスチック、ビニール	A 02	W B	1.3 m <sup>3</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無		
5	土嚢袋、テープ、パウチ	A 04	W B	0.2 m <sup>3</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無		
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。								

線量測定内容			
測定日	2021年2月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-162
2		ICW	F1-ICW-205
3			
4			

保管実績 記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	鉄くず	5 μSv/h	5 μSv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/10 9:45	1 m <sup>3</sup>				1
2	1	グラスウール、エアロフレックス	5 μSv/h	5 μSv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/10 9:45	1 m <sup>3</sup>				1
3	1	紙、ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/10 10:30	0.8 m <sup>3</sup>				2
4	1	ポリ、プラスチック、ビニール	2 μSv/h	2 μSv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/10 10:30	1 m <sup>3</sup>				2
5	1	土嚢袋、テープ、パウチ	2 μSv/h	2 μSv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/10 10:30	0.2 m <sup>3</sup>				2
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ	※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。													
注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。													

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0117

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0122
				2021/1/8
調整後保管日時		2021年2月12日		9:30
【保管時の指示事項等】				

主 管 入 欄	保管希望日時	2021年2月12日		(金)	9:30	承認	審査	作成	
	作業件名	G6エリア他タンク堰雨水移送ライン他設置工事							
	発生場所	タンクヤード					2021/1/8	2021/1/8	2021/1/8
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
G 記 入 欄	線量測定年月日	2020/11/6	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-125
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
		①	②	③					
	1	難燃シート	C 02	D B	0.3 m <sup>2</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
	2	シリコンシーラント容器	C 04	D B	0.1 m <sup>2</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
3	PE管(インジケータ部除く)	C 04	D B	0.1 m <sup>2</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無		
4	紙、ウエス類	A 01	W B	0.8 m <sup>2</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無		
5	ポリ、プラスチック、ビニール	A 02	W B	1.3 m <sup>2</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無		
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。								

線量測定内容			
測定日	2021年2月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-205
2		ICWBL	F1-ICWBL-108
3			
4			

保 管 実 績 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃シート	2 μSv/h	2 μSv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/12 9:30	0.4 m <sup>2</sup>			1
	2	1	シリコンシーラント容器	2 μSv/h	2 μSv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/12 9:30	0.2 m <sup>2</sup>			1
	3	1	PE管(インジケータ部除く)	2 μSv/h	2 μSv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/12 9:30	0.3 m <sup>2</sup>			2
	4	1	紙、ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/12 9:30	0.2 m <sup>2</sup>			1
5	1	ポリ、プラスチック、ビニール	2 μSv/h	2 μSv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/12 9:30	0.7 m <sup>2</sup>			1	
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ	※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。											

※ カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	D	状 態	D:乾燥、W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

## 瓦礫類・伐採木管理票 (別紙)

固体廃棄物G記入欄					
受付番号	廃2021	—	02	—	0122

[illegible]

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」
---	-----	-------------	---	-----	----------------------------------

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ、運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0117

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0123
				2021/1/8
調整後保管日時		2021年2月12日		10:30
【保管時の指示事項等】				

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2021年2月12日		(金)	10:30	承認	審査	作成	
	作業件名	G6エリア他タンク堰雨水移送ライン他設置工事							
	発生場所	タンクヤード					2021/1/8	2021/1/8	2021/1/8
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2020/11/20	測定者		測定器名	電離箱測定器	管理番号	FI-ICW-037	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	板金材	B 01	D B	3 m <sup>2</sup>	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	無	
	2	紙、ウエス類	A 01	W B	0.8 m <sup>2</sup>	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	無	
	3	ポリ、プラスチック、ビニール	A 02	W B	1.3 m <sup>2</sup>	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	無	
4	土嚢袋、テープ、パウチ	A 04	W B	0.2 m <sup>2</sup>	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	無		
5				m <sup>2</sup>					

注:  $\alpha$  有、 $\beta \alpha$  有の場合、 $\alpha$  線量情報をここに記載のこと。

線量測定内容			
測定日	2021年2月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-028
2		ICW	F1-ICW-205
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	板金材	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		※1 第二土捨場	2021/2/12 10:30	3 m <sup>2</sup>			1
	2	1	紙、ウエス類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		※1 第二土捨場	2021/2/12 10:30	0.8 m <sup>2</sup>			2
	3	1	ポリ、プラスチック、ビニール	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		※1 第二土捨場	2021/2/12 10:30	1 m <sup>2</sup>			2
	4	1	土嚢袋、テープ、パウチ	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		※1 第二土捨場	2021/2/12 10:30	0.5 m <sup>2</sup>			2

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013202 - 0002

作 業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2021年2月8日		(月)	8:30	承認	審査	作成	
	作業件名	#1カバー工事(カバー解体工事)							
	発生場所	西門前ヤード					2021/1/12	2021/1/12	2021/1/12
	作業主管G	1号カバー設置PJグループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/12/22	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-223
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
1	金属ガラ	B	01	D	B	10 m <sup>3</sup>	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無
2						m <sup>3</sup>			
3						m <sup>3</sup>			
4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>			
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0146
				2021/1/12
調整後保管日時		2021年2月8日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2021年2月8日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-028	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/8 8:30	8 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013202 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2021年2月8日		(月)	10:30	承認	審査	作成	
	作業件名	#1カバー工事(カバー解体工事)							
	発生場所	西門前ヤード					2021/1/12	2021/1/12	2021/1/12
	作業主管G	1号カバー設置PJグループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2020/12/22	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-223	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無
1	金属ガラ	B	01	D	B	10 m <sup>3</sup>	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無
2						m <sup>3</sup>			
3						m <sup>3</sup>			
4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>			
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0147
				2021/1/12
調整後保管日時		2021年2月8日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2021年2月8日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-028	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	5 μSv/h	5 μSv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/8 10:20	8 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
	②	C	難 燃 物	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
				01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013202 - 0002

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2021年2月9日		(火)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	#1カバー工事(カバー解体工事)								
	発生場所	西門前ヤード						2021/1/12	2021/1/12	2021/1/12
	作業主管G	1号カバー設置PJグループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/12/22	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-223
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	金属ガラ			B 01 D B	10 m	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無		
2					m					
3					m					
4					m					
5					m					

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0148
				2021/1/12
調整後保管日時		2021年2月9日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2021年2月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-028	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	5 μSv/h	5 μSv/h		※1 第二土捨場	2021/2/9 8:25	8 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥 W:湿気有		③	履歴				
	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」												

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013202 - 0002

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2021年2月9日		(火)	10:30		承認	審査	作成
	作業件名	#1カバー工事(カバー解体工事)							
	発生場所	西門前ヤード						2021/1/12	2021/1/12
	作業主管G	1号カバー設置PJグループ				監理員		TEL	
	元請会社					担当者		TEL	
	線量測定年月日	2020/12/22	測定者			測定器名	ICW		管理番号
							F1-ICW-223		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
1	金属ガラ	B	01	D	B	10 m <sup>3</sup>	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無
2						m <sup>3</sup>			
3						m <sup>3</sup>			
4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>			

注:  $\alpha$  有、 $\beta \alpha$  有の場合、 $\alpha$  線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物G記入欄				受付
受付番号				
廃2021	—	02	—	0149
				2021/1/12
調整後保管日時		2021年2月9日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2021年2月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-028	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/9 9:50	8 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013202 - 0002

作業主管理	保管希望日時	2021年2月10日		(水)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	#1カバー工事(カバー解体工事)								
	発生場所	西門前ヤード					2021/1/12	2021/1/12	2021/1/12	
	作業主管G	1号カバー設置PJグループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
G記入欄	線量測定年月日	2020/12/22	測定者		測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-223	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	金属ガラ	B	01	D	B	10 m <sup>3</sup>	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0150
				2021/1/12
調整後保管日時		2021年2月10日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2021年2月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-028
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		※1 第二土捨場	2021/2/10 8:40	8 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ	※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013202 - 0002

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0151
				2021/1/12
調整後保管日時		2021年2月10日		11:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2021年2月10日		(水)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	#1カバー工事(カバー解体工事)								
	発生場所	西門前ヤード					2021/1/12	2021/1/12	2021/1/12	
	作業主管G	1号カバー設置PJグループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2020/12/22	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-223		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	金属ガラ	B	01	D	B	10 m <sup>2</sup>	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				

注:  $\alpha$  有、 $\beta$   $\alpha$  有の場合、 $\alpha$  線量情報をここに記載のこと。

線量測定内容			
測定日	2021年2月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-028
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/10 11:00	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥 W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0029

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2021年2月8日	(月)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	H9エリアタンクリプレイス関連工事							
	発生場所	H9タンクエリア			2021/1/12	2021/1/12	2021/1/12		
	作業主管G	貯留設備グループ		監理員		TEL			
	元請会社			担当者		TEL			
	線量測定年月日	2020/11/24	測定者		測定器名	ICW(BL)	管理番号	F1-ICWBL-149	
メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ ・ $\gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	エアロフレックス	B 06	D A	6 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	シリコン空ガラ	B 10	D A	4 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3				m <sup>2</sup>				
	4				m <sup>2</sup>				
5				m <sup>2</sup>					
注: $\alpha$ 有、 $\beta$ ・ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0153
				2021/1/12
調整後保管日時		2021年2月8日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2021年2月8日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-162	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	エアロフレックス	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/8 10:45	6 m <sup>2</sup>			1
	2	1	シリコン空ガラ	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/8 10:45	4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ ※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$ ・ $\gamma$ 線量率欄に「 $\beta$ ・ $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta$ ・ $\gamma$ 線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012915 - 0017

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2021年2月10日		(水)	10:00	承認	審査	作成					
	作業件名	1F-1~4号機 汚染水タンク水位計他点検手入工事(その2)											
	発生場所	J1,2,3,4,5エリア					2021/1/12	2021/1/12	2021/1/12				
	作業主管G	水処理計装設備グループ			監理員		TEL						
	元請会社				担当者		TEL						
	線量測定年月日	2021/1/12	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-95					
	No.	保管物名			※カテゴリ	①	②	③	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	冷却ファン	B	03	D	A	0.3	m	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無
2	レベル計バッテリー	B	10	D	A	0.2	m	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
3							m						
4							m						
5							m						
注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。													

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0154
				2021/1/12
調整後保管日時		2021年2月10日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2021年2月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-162	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	冷却ファン	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/10 10:15	0.3 m			1
	2	1	レベル計バッテリー⑥	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2021/2/10 10:15	0.2 m			1
									m			
									m			
									m			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥 W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 欄	保管希望日時	2021年2月8日		(月)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	Eエリア				2021/1/12	2021/1/12	2021/1/12		
	作業主管G	土木水対策設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2021/1/6	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-35		
	記 入 欄	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
		①	②	③						
1		不燃物 (フランジタンク付属品)	B	12	D	A	5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
2							m <sup>2</sup>			
3							m <sup>2</sup>			
4							m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 4tユニット 1台									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0159
				2021/1/13
調整後保管日時		2021年2月8日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2021年2月8日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-162	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク付属品	5 μSv/h	5 μSv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/8 8:05	4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
	②	C	難 燃 物	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
				01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履歴				
				A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2021年2月8日		(月)	9:30	承認	審査	作成	
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事							
	発生場所	Eエリア					2021/1/12	2021/1/12	2021/1/12
	作業主管G	土木水対策設備グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2021/1/6	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-35
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③					
	1	機器類・制御盤類	B 03	D A	1 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2	塩化ビニール類	B 05	D A	4 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	3				m <sup>2</sup>				
	4				m <sup>2</sup>				
	5				m <sup>2</sup>				
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 4tユニット 1台								

固体廃棄物G記入欄				受付
受付番号				
廃2021	—	02	—	0160
				2021/1/13
調整後保管日時		2021年2月8日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2021年2月8日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-108	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	塩化ビニール類(→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/8 9:00	2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
	②	C	難燃物	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
				01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6014611 - 0001

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2021年2月9日		(火)	10:30		承認	審査	作成
	作業件名	旧 シュラウド建屋除却工事							
	発生場所	旧 シュラウド建屋						2021/1/13	2021/1/13
	作業主管G	建築設備保守グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2020/12/11	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-136
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	外壁材等	B	10	D	A	5 m <sup>2</sup>	0.014 mSv/h	0.014 mSv/h
2						m <sup>2</sup>			
3						m <sup>2</sup>			
4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>			

注:  $\alpha$  有、 $\beta \alpha$  有の場合、 $\alpha$  線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0170
				2021/1/13
調整後保管日時		2021年2月9日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2021年2月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-162	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	外壁材等	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/9 10:15	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	②	状態		D:乾燥, W:湿気有		③ 履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6014611 - 0001

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2021年2月10日		(水)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	旧 シュラウド建屋除却工事								
	発生場所	旧 シュラウド建屋					2021/1/13	2021/1/13	2021/1/8	
	作業主管G	建築設備保守グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2020/12/11	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-136
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ - $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ + $\gamma$ 線量率
1	金属くず	B	01	D	A	5 m <sup>3</sup>	0.008 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0171
				2021/1/13
調整後保管日時		2021年2月10日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2021年2月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-162	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ + $\gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属くず	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/10 8:10	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
		B	不 燃 物	06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
				01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
	②	D	伐 採 木	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
				01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 状態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$ + $\gamma$ 線量率欄に「 $\beta$ + $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta$ + $\gamma$ 線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6014611 - 0001

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0172
				2021/1/13
調整後保管日時		2021年2月10日		8:30
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2021年2月10日		(水)	8:30	承認	審査	作成	
	作業件名	旧 シュラウド建屋除却工事							
	発生場所	旧 シュラウド建屋				2021/1/13	2021/1/13	2021/1/8	
	作業主管G	建築設備保守グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/12/11	測定者			測定器名	ICWBL		
					管理番号	F1-ICWBL-136			
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	
			①	②	③			$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	金属くず	B	01	D	A	5 m <sup>3</sup>	0.008 mSv/h	0.01 mSv/h
2						m <sup>3</sup>			
3						m <sup>3</sup>			
4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>			
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

線量測定内容			
測定日	2021年2月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-162
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属くず	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/10 8:50	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6014611 - 0001

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2021年2月10日		(水)	9:00	承認	審査	作成			
	作業件名	旧 シュラウド建屋除却工事									
	発生場所	旧 シュラウド建屋					2021/1/13	2021/1/13	2021/1/8		
	作業主管G	建築設備保守グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2020/12/11	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-136		
記 入 欄 メモ	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③							
	1	金属くず	B	01	D	A	5 m <sup>3</sup>	0.008 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2						m <sup>3</sup>				
	3						m <sup>3</sup>				
	4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>					
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0173
				2021/1/13
調整後保管日時		2021年2月10日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2021年2月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-162	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属くず	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/10 9:25	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	06	—
	③	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	06	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6014611 - 0001

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2021年2月10日		(水)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	旧 シュラウド建屋除却工事								
	発生場所	旧 シュラウド建屋				2021/1/13	2021/1/13	2021/1/8		
	作業主管G	建築設備保守グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/12/11	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号 F1-ICWBL-136		
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	金属くず	B	01	D	A	5 m	0.008 mSv/h	0.01 mSv/h	
	2						m			
	3						m			
	4						m			
5						m				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0174
				2021/1/13
調整後保管日時		2021年2月10日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2021年2月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-162	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属くず	5 μSv/h	5 μSv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/10 10:55	5 m			1
									m			
									m			
									m			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6014611 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2021年2月10日		(水)	10:30	承認	審査	作成	
	作業件名	旧 シュラウド建屋除却工事							
	発生場所	旧 シュラウド建屋					2021/1/13	2021/1/13	2021/1/8
	作業主管G	建築設備保守グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/12/11	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-136	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
1	外壁材等	B	10	D	A	5 m <sup>2</sup>	0.014 mSv/h	0.014 mSv/h	無
2						m <sup>2</sup>			
3						m <sup>2</sup>			
4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>			
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0176
				2021/1/13
調整後保管日時		2021年2月10日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2021年2月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-162	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	外壁材等	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/10 9:40	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6014612 - 0001

作業主管理	保管希望日時	2021年2月10日		(水)	10:30	承認	審査	作成	
	作業件名	事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事							
	発生場所	旧事務本館構内				2021/1/13	2021/1/13	2021/1/13	
	作業主管G	建築設備建設グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
線量測定年月日	2020/12/22	測定者			測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICWBL-80
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	コンクリガラ	B 02	D A	5 m <sup>3</sup>	0.007 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
	2				m <sup>3</sup>				
	3				m <sup>3</sup>				
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。								

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0177
				2021/1/13
調整後保管日時		2021年2月10日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2021年2月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-162	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリガラ ⑪	5 $\mu$ Sv/h	10 $\mu$ Sv/h		エリアC	2021/2/10 10:50	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						
	注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。												

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6014611 - 0001

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2021年2月12日		(金)	8:00		承認	審査	作成
	作業件名	旧 シュラウド建屋除却工事							
	発生場所	旧 シュラウド建屋						2021/1/13	2021/1/13
	作業主管G	建築設備保守グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2020/12/11	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号
							F1-ICWBL-136		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
1	金属くず	B	01	D	A	5 m	0.008 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2						m			
3						m			
4						m			
5						m			
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0178
				2021/1/13
調整後保管日時		2021年2月12日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2021年2月12日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-162	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属くず	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/12 8:00	5 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。												

※カテ ゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥 W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6014611 - 0001

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0179
				2021/1/13
調整後保管日時		2021年2月12日		8:30
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2021年2月12日		(金)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	旧 シュラウド建屋除却工事								
	発生場所	旧 シュラウド建屋					2021/1/13	2021/1/13	2021/1/8	
	作業主管G	建築設備保守グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2020/12/11	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-136		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	金属くず	B	01	D	A	5 m <sup>3</sup>	0.008 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

線量測定内容				
測定日	2021年2月12日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-162	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属くず	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/12 8:05	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。											
--------	------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6014611 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2021年2月12日		(金)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	旧 シュラウド建屋除却工事								
	発生場所	旧 シュラウド建屋					2021/1/13	2021/1/13	2021/1/8	
	作業主管G	建築設備保守グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2020/12/11	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-136		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	金属くず	B	01	D	A	5 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0180
				2021/1/13
調整後保管日時		2021年2月12日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2021年2月12日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-162	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属くず	5 μSv/h	5 μSv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/12 9:05	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥 W:湿気有		③	履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6014611 - 0001

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2021年2月12日		(金)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	旧 シュラウド建屋除却工事								
	発生場所	旧 シュラウド建屋					2021/1/13	2021/1/13	2021/1/8	
	作業主管G	建築設備保守グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/12/11	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-136	
記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	金属くず	B	01	D	A	5 m <sup>3</sup>	0.008 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
	4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0181
				2021/1/13
調整後保管日時		2021年2月12日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2021年2月12日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-162	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属くず	5 μSv/h	5 μSv/h		※1 第二土捨て場	2021/2/12 9:55	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —		
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05
		②	状 態			D:乾燥 W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6014611 - 0001

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2021年2月12日		(金)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	旧 シュラウド建屋除却工事								
	発生場所	旧 シュラウド建屋					2021/1/13	2021/1/13	2021/1/8	
	作業主管G	建築設備保守グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2020/12/11	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-136		
G 記 入 欄 メモ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	金属くず	B	01	D	A	5 m <sup>3</sup>	0.008 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
	4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0182
				2021/1/13
調整後保管日時		2021年2月12日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2021年2月12日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-162	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属くず	5 μSv/h	5 μSv/h		※1 第二土捨場	2021/2/12 11:00	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※1 一時保管エリア整理中に伴い、仮設集積場所に一時的に受け入れた。

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
	②	D	難 燃 物	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
				01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6014612 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2021年2月8日		(月)	9:00	承認	審査	作成	
	作業件名	事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事							
	発生場所	旧事務本館構内					2021/1/13	2021/1/13	2021/1/13
	作業主管G	建築設備建設グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2020/12/22	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICWBL-80	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無
1	コンクリガラ			B 02 D B	5 m <sup>3</sup>	0.008 mSv/h	0.034 mSv/h	無	
2					m <sup>3</sup>				
3					m <sup>3</sup>				
4					m <sup>3</sup>				
5					m <sup>3</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0183
				2021/1/13
調整後保管日時		2021年2月8日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2021年2月8日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-162	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ + $\gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリガラ ①	5 $\mu$ Sv/h	15 $\mu$ Sv/h		エリアC	2021/2/8 9:00	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態	D:乾燥 W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$  +  $\gamma$  線量率欄に「 $\beta$  +  $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta$  +  $\gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6014612 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2021年2月8日		(月)	9:30	承認	審査	作成	
	作業件名	事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事							
	発生場所	旧事務本館構内					2021/1/13	2021/1/13	2021/1/13
	作業主管G	建築設備建設グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2020/12/22	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICWBL-80	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	コンクリガラ	B	02	D	A	5 m <sup>2</sup>	0.007 mSv/h	0.036 mSv/h	無
2						m <sup>2</sup>			
3						m <sup>2</sup>			
4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>			
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0184
				2021/1/13
調整後保管日時		2021年2月8日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2021年2月8日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-162	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリガラ ⑪	5 $\mu$ Sv/h	15 $\mu$ Sv/h		エリアC	2021/2/8 10:55	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	②	状態		D:乾燥, W:湿気有		③ 履歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6014612 - 0001

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2021年2月9日	(火)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事								
	発生場所	旧事務本館構内			2021/1/13	2021/1/13	2021/1/13			
	作業主管G	建築設備建設グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2020/12/22	測定者		測定器名	電離箱	管理番号 F1-ICWBL-80			
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	コンクリガラ	B	02	D	A	5 m <sup>3</sup>	0.006 mSv/h	0.032 mSv/h	無	
2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				

注:  $\alpha$  有、 $\beta \alpha$  有の場合、 $\alpha$  線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0185
				2021/1/13
調整後保管日時		2021年2月9日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2021年2月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-162
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリガラ ①	5 $\mu$ Sv/h	10 $\mu$ Sv/h		エリアC	2021/2/9 9:20	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6014612 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2021年2月9日	(火)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事								
	発生場所	旧事務本館構内			2021/1/13	2021/1/13	2021/1/13			
	作業主管G	建築設備建設グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2020/12/22	測定者		測定器名	電離箱	管理番号 F1-ICWBL-80			
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	コンクリガラ	B	02	D	A	5 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.026 mSv/h	無	
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				

注:  $\alpha$  有、 $\beta \alpha$  有の場合、 $\alpha$  線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0186
				2021/1/13
調整後保管日時		2021年2月9日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2021年2月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-162
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリガラ ①	5 $\mu$ Sv/h	15 $\mu$ Sv/h		エリアC	2021/2/9 11:00	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	②	状態		D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6014612 - 0001

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2021年2月10日		(水)	9:30	承認	審査	作成					
	作業件名	事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事											
	発生場所	旧事務本館構内				2021/1/13	2021/1/13	2021/1/13					
	作業主管G	建築設備建設グループ			監理員	TEL							
	元請会社				担当者	TEL							
	線量測定年月日	2020/12/22	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICWBL-80					
	No.	保管物名			※カテゴリ	①	②	③	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	コンクリガラ			B	02	D	A	5 m	0.008 mSv/h	0.035 mSv/h	無		
2								m					
3								m					
4								m					
5								m					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。													

固体廃棄物G記入欄				受付
受付番号				
廃2021	—	02	—	0187
				2021/1/13
調整後保管日時		2021年2月10日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2021年2月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-162	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリガラ ①	5 μSv/h	10 μSv/h		エリアC	2021/2/10 9:20	5 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			
									m			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ欄												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥 W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015301 - 0009

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2021年2月9日		(火)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(A, B)設置及び同関連除却								
	発生場所	中央交差点西側ヤード						2021/1/13	2021/1/13	
	作業主管G	PCV関連設備管理PJグループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2021/1/6	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	
							F1-ICWBL-140			
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	エフレックス	C	04	D	A	3 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.007 mSv/h	$\beta$ 有	0.08 mSv/h
2	ゴムホース	C	01	D	A	3 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.007 mSv/h	$\beta$ 有	0.08 mSv/h
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				

注:  $\alpha$  有、 $\beta \alpha$  有の場合、 $\alpha$  線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2021	—	02	—	0191
				2021/1/13
調整後保管日時		2021年2月9日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2021年2月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-162
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	エフレックス	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	20 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2021/2/9 9:05	3 m <sup>2</sup>		2020 SS-00184	1
	2	1	ゴムホース	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	20 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2021/2/9 9:05	3 m <sup>2</sup>		2020 SS-00184	1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記物品を収納後のコンテナ表面: BG=7  $\mu$  Sv/h, 表面線量率=10  $\mu$  Sv/h,  $\beta + \gamma$  線量率=10  $\mu$  Sv/h

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。